2026.08.20
【新治療】ルメッカ（IPL 光治療）提供開始
美容皮膚科『リゼクリニック』（03-5155-6535・担当：伊藤・伊東・下谷）

■【10～50 代男女 1000 人へ調査】「肌の悩みランキング」

女性 46.4%が「シミ」に苦悩

◎《女性》30 代 53.0%・40 代 75.0%・50 代 64.0%と、「シミ」が肌悩みの第 1 位
◎《男性》50 代の肌悩み第 1 位（43.0%）。加齢に伴い「シミ」に悩む人が多く存在

◎【新治療】次世代 IPL 光治療器「ルメッカ」を導入！ 2026 年 8 月 20 日（木）より提供開始
全国 29 院展開する美容皮膚科『リゼクリニック（男性はメンズリゼ）』（医療法人社団風林会 本部：東京都新宿区 総院長：赤塚正洋）は、最新 IPL（Intense Pulsed Light）機器『ルメッカ（LUMECCA）』を導入。2026 年 8 月 20 日（木）より『リゼクリニック銀座院』限定で提供開始いたします。
■専用ページ：https://www.rizeclinic.com/skin/lumecca/



「ルメッカ（LUMECCA）」は、イスラエルのインモード社が開発し、**日本国内の医療機器製造販売認証を取得**している次世代 IPL 光治療器です。
最大の特徴は、気になるシミやそばかす、くすみ、赤みなどの肌悩みに対し、少ない回数で効率よくアプローチできることです。シミや赤みに反応しやすい 500～600nm の波長に効率よくエネルギーを届ける設計と、高いピークパワーにより、気になる色素や赤みにアプローチします。 また、お肌の深層へ効果的に光エネルギーを届けるため、「隠れたシミ予備軍」に対しても効果を発揮。従来の IPL 光治療で十分な効果を感じられなかった方や、より少ない治療回数で変化を実感したい方に適した次世代の美肌治療で、性別・年齢を問わずあらゆるシミ悩みの改善が期待できます。



実際に、当院が **2026 年 2 月に 10～50 代男女 1000 名に行った【性別・世代別／「肌の悩み」に関するアンケート調査】（※①）**では、**「どのような肌悩みがあるか？」**という質問に対し、**女性（全体）の 46.4%が「シミ」と回答**。 「肌の悩み」第一位の「毛穴（51.4%）」に次ぐ、第 2 位となりました。
特に**「シミ」と回答した女性を年代別にみると、30 代で 53.0%と過半数を超え、40 代で 75.0%、50 代で 64.0%となり、いずれも肌悩みの第 1 位**にランクインしました。また、**男性においても 50 代で「シミ」が第 1 位（43.0%）**に挙がるなど、**性別を問わず年齢を重ねるにつれてシミに悩む人が増える傾向**が浮き彫りになっています。



【シミの種類によってできる仕組みや原因、できやすい年代、適した治療法は異なります。そのため、シミを改善するためには、まず「どの種類のシミなのか」を正しく見極めることが大切。】と話すのは、リゼクリニック美容皮膚科医の山村鈴奈医師。
本リリース内では、「シミ」について、また「年代別のシミに関する特徴と違い」を、同医師が専門的見地から詳しく解説いたします。

※① ： リード文中内の調査概要について
- **調査名：**性別・世代別／「肌の悩み」に関するアンケート https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000117.000020081.html
- **クレジット表記：**データ使用時は**【 美容皮膚科『リゼクリニック』 】**を記載ください
- **調査主 ：**美容皮膚科『リゼクリニック』（医療法人社団風林会 本部：東京都新宿区 総院長：赤塚正洋）
- **調査対象：**「肌悩み」がある 10～50 代男女 1000 名（各 100 名）
- **調査期間：**2026 年 2 月 2 日～8 日の 7 日間（インターネット調査）

■ 【「シミ」年代別の特徴と違いとは？】リゼクリニック美容皮膚科医：山村鈴奈医師による解説

■「シミ」とは？



シミとは、一般的に肌に現れる茶色や黒っぽい色素斑の総称です。見た目が似ていても原因はさまざまで、老人性色素斑や肝斑、炎症後色素沈着、そばかすなどメラニン色素の増加によって生じるものがあります。また、ＡＤＭ（後天性メラノサイトーシス）のように、真皮という深い部分に存在するメラノサイトが関係するものや、シミと間違われやすい脂漏性角化症（老人性イボ）などもあります。

メラニンは本来、紫外線などの刺激から肌を守るために作られる色素で、通常は肌のターンオーバーによって少しずつ排出されます。
しかし、紫外線や加齢などの影響でメラニンが過剰に作られたり、排出が追いつかなかったりすると、シミとして目立つようになります。また、シミの種類によってできる仕組みや原因、できやすい年代、適した治療法は異なります。そのため、シミを改善するためには、まず「どの種類のシミなのか」を正しく見極めることが大切です。

■【年代別】シミの特徴と違い

年代	主なシミの種類	原因・特徴
10～20 代	そばかす（雀卵斑） 炎症後色素沈着 ADM （後天性メラノサイトーシス）	＜原因＞ 遺伝的な要因や炎症がシミの主な原因となります。そばかすは遺伝的な要因が大きく、紫外線を浴びることで濃くなりやすいシミです。また、ニキビや虫刺されなどの炎症後にできる色素沈着や、ADM（後天性メラノサイトーシス）も 20 代頃から目立ち始めることがあります。若い肌はターンオーバーが活発なため炎症後色素沈着は改善しやすい一方で、紫外線対策を怠ると長引くことがあります。 ＜特徴＞ そばかすは鼻や頬を中心に小さな斑点が左右対称に出現。ADM は頬を中心に青みがかった灰褐色の色素斑として現れます。
30～40 代	肝斑 初期の老人性色素斑	＜原因＞ これまで浴びてきた紫外線のダメージが蓄積し始め、老人性色素斑が現れやすくなります。また、妊娠・出産や女性ホルモンの変化なども影響し、肝斑を発症する方が増える年代です。 ＜特徴＞ 肝斑は頬骨や頬を中心に左右対称に現れやすく、輪郭がはっきりしない、もやっと広がるような見た目が特徴です。一方、老人性色素斑は紫外線が当たりやすい部位に、境界が比較的はっきりした斑点として現れます。
50 代以降	老人性色素斑 脂漏性角化症（老人性イボ）	＜原因＞ 長年にわたる紫外線ダメージの蓄積に加え、加齢によりターンオーバーが低下することで老人性色素斑がさらに目立ちやすくなります。また脂漏性角化症（老人性イボ）も増えやすくなります。 ＜特徴＞ 脂漏性角化症（老人性イボ）は、少し盛り上がったイボのような見た目が特徴でシミと間違われることも少なくありません。

■【医師解説】年代で「シミ」の種類が異なる理由

シミの種類は年齢とともに肌を取り巻く環境が変化するためです。**主に次の 4 つの要因**が関係しています。

①紫外線ダメージの蓄積
紫外線はメラニンを作る最大の原因です。若いうちは肌の代謝によって排出されますが、長年浴び続けることでダメージが蓄積し、30〜40 代ごろから老人性色素斑が現れやすくなります。

②ターンオーバーの低下
加齢とともに肌の代謝が落ち、ターンオーバーはゆるやかになります。その結果、メラニンが排出されにくくなり、シミとして残りやすくなります。

③ホルモンバランスの変化
妊娠・出産などによる女性ホルモンの変化の影響で、肝斑が現れやすくなります。

④シミ以外の病変も増える
50 代以降になると、脂漏性角化症(老人性イボ)など、シミに似た病変も増えていきます。そのため、「シミだと思っていたら実は別の病変だった」というケースも少なくありません。

年代によって現れやすいシミの種類は異なります。また、見た目が似ていても原因や治療法はさまざまです。
実際には複数のシミが混在している場合もあるため、それぞれのシミに応じた治療を選択することが重要です。

■「リゼクリニック」美容皮膚科医：山村鈴奈 プロフィール



久留米大学医学部医学科を卒業後、旭ろうさい病院、佐賀県医療センター好生館にて幅広い臨床経験を積む。一般医療の現場で培った安全性への配慮と、患者さま一人ひとりに丁寧に向き合う姿勢を大切にし、2021 年「リゼクリニック福岡天神院」の院長に就任、現在に至る。
美容医療は外側からのケアだけでなく、体の内側の状態も大きく影響すると考え、腸内環境を意識したケアにも取り組み、患者さまへのアドバイスにも活かしている。医療としての確かな知識と安全性を重視しながら患者さまが安心して通える美容医療の提供を心がけている。

■IPL 光治療『ルメッカ』概要



施術名：ルメッカ
専用ページ：https://www.rizeclinic.com/skin/lumecca/
提供開始日：2026 年 8 月 20 日（木）
提供院：リゼクリニック銀座院（男性：メンズリゼ銀座）
料金(税込)：1 回 14,800 円／3 回 39,800 円／5 回 59,800 円

治療内容：光エネルギーを顔全体に照射することで、シミやくすみ、赤みなど肌全体の色ムラを総合的に改善する治療
副作用（リスク）：施術後数時間はヒリつき、熱感、赤みが出る場合があります。1 週間程度、シミやホクロの部分が少し濃くなったように見えることがありますが、皮膚のターンオーバーに伴い、徐々に薄くなっていきます。

※当院の治療は保険適用外の自由診療です。

2026.08.20
【新治療】ルメッカ（IPL 光治療）提供開始
美容皮膚科『リゼクリニック』（03-5155-6535・担当：伊藤・伊東・下谷）

■リゼクリニックの“美肌治療“
～すべては患者さまのニーズに応えるため、患者さまファーストの美容医療を～

「正しい脱毛で日本中を笑顔に」をビジョンとして掲げる『リゼクリニック（男性はメンズリゼ）』（全国 29 院展開／医療法人社団風林会 本部：東京都新宿区 総院長：赤塚正洋）は、2010 年 3 月の創業から 16 周年を迎えました。
創業時から “医療脱毛専門のクリニック（医療機関）”として「医療レーザー脱毛」を主軸に提供し続けていたリゼクリニックでは、さらに患者さまのお気持ちやお悩みに寄り添うために 2024 年より新たに【美肌治療の提供を開始】。2026 年 6 月からは 【“背中”や“お尻”にも美肌治療の施術範囲を拡大】しています。

❶医療脱毛専門院として 15 年以上の実績



リゼクリニックでは 2010 年の開院以来、単なる「体毛の解消」にとどまらず、患者さまの心に寄り添う医療サービスの提供に努めてまいりました。
私たちは改めて「医療だからこそできる責任」に真摯に向き合い、高い技術力と追加費用のない透明性の高い料金体系を提供し、最適な安心を届けます。また、医療機関としての本来の在り方を追求し、社会から信頼される美容医療の未来を築いてまいります。

❷患者さまの声から生まれた『美肌治療』



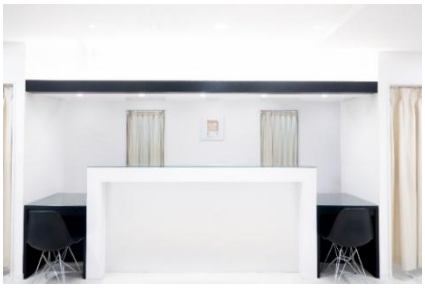
私たちは「医療脱毛専門院」として 10 年以上、ひたむきに医療レーザー脱毛の提供を続けてまいりました。
そのようななかで、患者さまより「ずっと通っていたリゼクリニックで、そのまま肌治療もできたらいいな」「脱毛が終わって、卒業するのは寂しい」 「これからも、美容の“かかりつけ院”であってほしい」とのお声をいただくことが増え「 患者さまからのニーズを大切にしたい」と、常に患者さまのお気持ちに寄り添うため「美肌治療」が誕生。

❸何度でも気軽に利用いただける価格設定

美容医療を特別なお手入れではなく、継続的なスキンケアとして通っていただくために価格を設定。
強引な勧誘や不要な追加費用は一切なく、施術に必要な費用のみを適正価格でご提示するなど、いつでも安心して通い続けられる環境を整えています。

■【正しい脱毛で、笑おう】全国で 29 院展開している美容皮膚科『リゼクリニック』

◎診療科目：美容皮膚科（医療脱毛・美肌治療）
◎診療時間：10:00～20:00（不定休、予約制）※提携院は各院に準ずる
◎公式 Web サイト：
美容皮膚科『リゼクリニック』 ▶ https://www.rizeclinic.com/
男性の美容皮膚科『メンズリゼ』▶ https://www.mens-rize.com/



本リリースに関するお問い合わせ先

広報：伊藤・伊東・下谷 pr@rizeclinic.com
《美容皮膚科リゼクリニック／医療法人社団風林会》
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 3F
TEL：03-5155-6535